＜言語聴覚士とは＞

言葉によるコミュニケーションに問題がある方や、聴こえ、食べること・飲み込むことに問題がある方に対して、専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。医療・福祉・介護・教育の場で働いています。

◆具体的に何をしますか？

・発達の問題に対して、言語発達・認知発達・社会性の発達・身体発達等の評価に基づき、遅れの原因とメカニズムを明らかにします。

・環境調整や対応の仕方について指導することで、生活の中で発達を支援します。

・子どもの特性に合わせ、サインやシンボルなども用い、コミュニケーション支援、学習指導を行います。

・本人や家族への心理的支援、患者の会や親の会の紹介、その他必要な援助を行います。

＜ことばの遅れなど 心配なときは＞

ことばの遅れなどが気になる場合は、健診などで関わっている市町村の保健所や保健福祉センターにご相談ください。

または、千葉県言語聴覚士会のホームページにある「問い合わせフォーム」からご相談ください。

【問い合わせ先】
一般社団法人　千葉県言語聴覚士会
https://chiba-st.com/
〒263-0042
千葉市稲毛区黒砂2-6-15 メゾンK102

お子さんの発達が気になる保護者の方へ

お子さんの成長過程でちょっと心配な事や、どう対応するべきか悩むことがあると思います。

このリーフレットにあるような気になる点について、ぜひご相談ください。

言語聴覚士（ST：Speech Therapist）は子どもの発達を支援する専門職です。

一般社団法人 千葉県言語聴覚士会

食べる・飲み込む

口や喉の運動の問題や舌が小さいなどの形の問題、感覚の敏感さやこだわり等が原因にあります。

例えば…
- ミルクが鼻から出てしまう
- よく噛まないで丸のみする
- よくむせる
- 白いものなど特定のものしか飲食しない

どもる

言いたいことが頭に浮かんでいるのに、その言葉がスムーズに出せないことがあります。

例えば・・・
- ことばの一部を繰り返す
  「き・き・き・きのうね」
- ことばの一部を伸ばす
  「きーーのうね」
- 力が入り、つまってしまうため、ことばが出づらい
  「・・・きのうね」
- 話す時に手を振り下ろす，足踏みをする等をしながら話し出すタイミングをとることもあります。
- 言いづらいことばを別のことばに言いかえることもあります。

ことば

聴こえづらい、ことばそのものが理解できない、ことばを使って人とコミュニケーションが取れないことがあります。

例えば・・・

【聴こえの問題の場合】
- 名前を読んでも振り返らない
- 聞き返しが多い
- 小さな音に気付かない

【ことばが理解できない/話せない】
- 全体的に発達がゆっくりしている
- 日常の動作がなかなか一人でできない
- 始語が遅い、または、遅かった
- 助詞を使わない

【ことばを使ったコミュニケーション】
- 行動がマイペースである
- 目が合いづらい
- 一方的に話す
- 質問に対する応答がかみ合わない

【就学した後】
- 「迷惑」などの抽象的なことばが分からない
- 国語のテストの点数がわるい
- 授業中に騒いでしまう

読み書き

話はできるのに、文字の読み書きが極端に苦手なことがあります。

例えば・・・

【読み】
- 文字を読むことに時間がかかる
- 読み飛ばしが多い

【書き】
- 「がっこう」の小さい「っ」や、「おかあさん」の「あ」などを書かないまたは誤る
- 「ぬ」と「め」、「雪」と「雷」など形が似ている字を誤る
- 書くスピードが遅い

発音

口（唇・舌・上顎など）の形が変形するなどの問題によって発音が上手くできない状態や誤った発音方法のため、正しく発音できないことがあります。

例えば・・・
- カラスを「タァチュ」と言う
- サカナを「タカナ」と言う